

No.1790

広報

2024(令和6)年

3.26

まつど

Matsudo City Information

いきいき安心プランⅧ
まつど特集号

発行：松戸市
編集：高齢者支援課、地域包括ケア推進課、介護保険課
〒271-8588 松戸市根本387の5
☎047-366-7346 FAX)047-366-0991
URL)https://www.city.matsudo.chiba.jp/

松戸市住民基本台帳人口 497,937人
高齢者人口(65歳以上) 129,036人 高齢化率 25.9%



2024(令和6)年2月29日現在

高齢者がいつまでも いきいきと暮らせるまちを目指して

いきいき安心プランⅧまつど

第10期松戸市高齢者保健福祉計画・第9期松戸市介護保険事業計画(令和6年度～8年度)を策定しました

この計画は、高齢者施策に関する基本方針や目標、その実現に向けた施策を定め、介護保険サービスの見込みなどを示したものです。

市民や事業者へのアンケート、松戸市高齢者保健福祉推進会議からの答申などをもとに策定を進め、新しい計画がまとまりましたので紹介します。



元気応援くらぶ 活動の様子

基本理念

松戸市総合計画やこれまでの同プランを踏まえ、可能な限り住み慣れた自宅や地域で、生涯を通じて、いきいきと生活し続けられるよう、「高齢者がいつまでもいきいきと暮らせるまちづくり」を基本理念として設定しました。

高齢者の社会参加の促進とフレイル(※1)予防・介護予防を推進します

高齢者がいつまでも健康で生きがいや役割をもって活躍できるよう、社会参加やフレイル予防・介護予防に取り組みやすい環境づくりを行います。

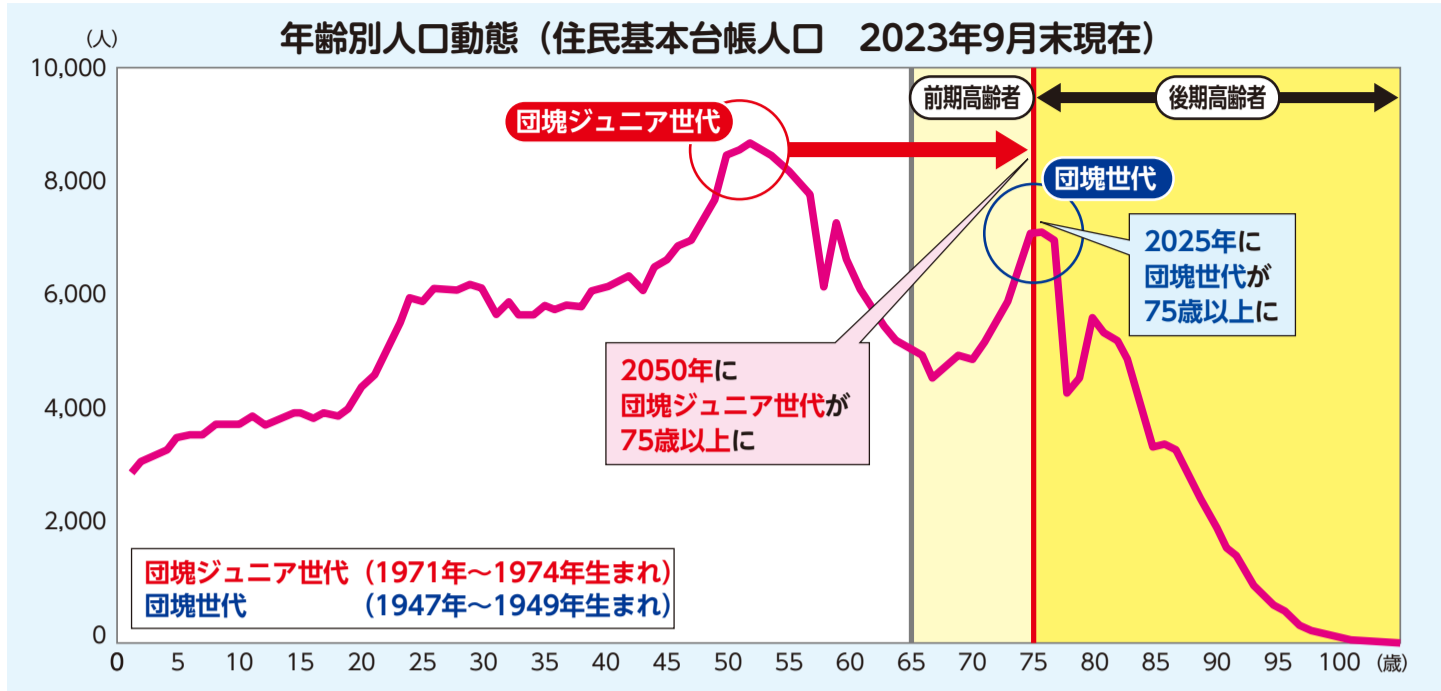
また、生活支援の需要が増加し多様化する一方で、支援の担い手不足が課題です。誰もが世代や分野、「支え手」や「受け手」という関係を超えてつながる「地域共生社会」の実現に向け、支え合いによる地域づくりを推進していきます。

(※1) 加齢とともに、心身の活力(たとえば筋力や認知機能等)が低下した状態。



「地域共生社会」の実現を目指して

市の人口構成 (「団塊世代」と「団塊ジュニア世代」の移り変わり)



2050年を見据えて

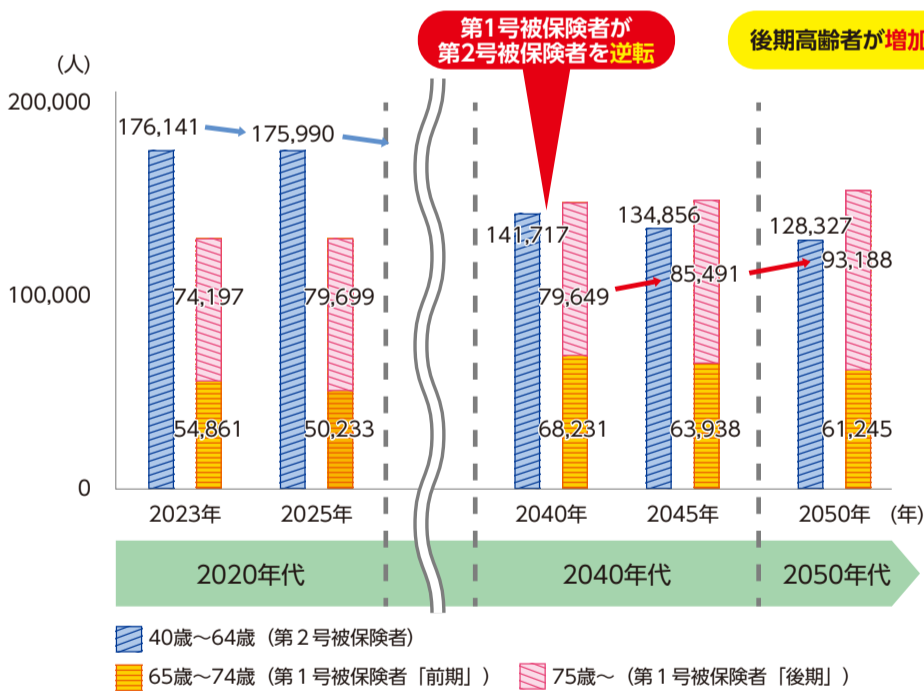
上のグラフは、2023年9月末の年齢ごとの人数をグラフにしたものです。

いきいき安心プランⅧまつどの計画期間である**2025年には「団塊世代」が75歳以上**になります。26年後の**2050年には「団塊ジュニア世代」が75歳以上**になり、今後2050年に向けて人口構造の大きな変化を迎えることが予想されています。

そのため、計画期間(令和6年度～8年度)はもちろん、将来を見据えた取り組みが必要です。

医療・介護を必要とする高齢者が増えて現役世代(※2)が減少します

松戸市における40歳以上人口の推移



介護保険の被保険者数に着目した推計では、65歳以上の第1号被保険者数の増加と40歳以上64歳以下の第2号被保険者数の減少によって、16年後の**2040年には、第2号被保険者数を第1号被保険者数が上回る「逆転現象」が起こります。**

さらに、2050年に向けて、高齢者のうち75歳以上の後期高齢者の割合が高くなり、今後、医療や介護を必要とする高齢者が増えるだけでなく、支援の担い手となる現役世代が減少することも予想されます。

(※2)ここでは第2号被保険者(40歳以上64歳以下)を指します。

中長期的視野に基づいた計画を策定しました

人口推計を踏まえ、中長期的視野を設定し、人口構造が大きく変化する2050年までを見据えた計画を策定しました。要介護状態とならないようフレイル予防や介護予防を推進し、介護需要を可能な限り抑え、更なる減少が見込まれる現役世代の介護や支援の適正化を目指します。

介護需要を減らす



適正な介護サービスの供給

計画の柱

2050年までの人口構造の変化に対応し、「高齢者の社会参加の促進と予防(※3)の推進」というビジョンを実現するため、施策を3本の柱としてまとめました。

(※3)フレイル予防・介護予防などのこと。

計画の柱
1

生涯現役社会・健康寿命の延伸

多様な就労・社会参加支援と介護予防を推進します

- 生涯現役社会の実現に向けた多様な就労・社会参加支援の促進
- 健康寿命の延伸に向けた介護予防・重度化防止の推進

重点施策

フレイル予防に着目した保健事業の推進

医療・介護・健診データの分析により高齢者の健康状態を把握します。その結果から、低栄養や口腔機能低下、生活習慣病重症化などへのハイリスクアプローチを行います。また、地域の様々な場でフレイル予防の普及啓発活動を行います。



イベントでの簡易フレイルチェック

計画の柱
3

介護サービスの適正な供給

在宅医療・介護連携と人材確保を推進します

- 在宅介護サービスの充実と在宅医療・介護連携の推進
- 地域の実情に合わせた住まいの確保と施設整備
- 介護人材の確保・定着や資質向上に向けた取り組みの推進

重点施策

多様な主体の確保と生産性の向上

多様な人材が参加しやすい環境整備を進め、介護業務内容の機能分化による新たな人材の参入を促進します。

また、介護事業所における業務効率化や生産性の向上を図ります。



計画の柱
2

地域包括ケアシステム(※4)の深化・推進

多様化するニーズに対応する支援体制を構築します

- 地域共生社会に向けた支え合いによる地域づくり
- 認知症施策の総合的な推進
- 地域包括支援センターの体制強化

重点施策

多様な生活ニーズに対する支援

日常生活における支援ニーズに対応する多機能コーディネーターを市内15地区に配置しています。地域のさまざまな社会資源を活用することで介護予防や地域の支え合いの実現を目指します。



助け合い活動の様子

属性や世代を問わない相談支援体制の充実

高齢者の身近な相談窓口である「高齢者いきいき安心センター（地域包括支援センター）」では、複合化・複雑化した支援ニーズに対応するため、高齢者本人のみならず家族も含めた属性や世代を問わない包括的な相談支援を推進します。

お住まいの地区を担当する高齢者いきいき安心センター(地域包括支援センター)にご相談ください。



高齢者いきいき安心センター



市ホームページ
(高齢者いきいき安心センター一覧)

(※4)重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される体制。

健康づくりや介護に関する情報などを市ホームページに掲載しています。ぜひご覧ください。



市ホームページ

施策の内容

計画の柱
1

生涯現役社会・健康寿命の延伸

施策 1 生涯現役社会の実現に向けた多様な就労・社会参加支援の促進

- ①生涯現役社会の実現に向けた就労支援の推進
- ②社会参加を通じた生きがいづくり



はつらつクラブ サークル活動の様子

施策 2 健康寿命の延伸に向けた介護予防・重度化防止の推進

- ①フレイル予防に着目した保健事業の推進
- ②介護予防の推進



グリーンスローモビリティ

計画の柱
2

地域包括ケアシステムの深化・推進

施策 1 地域共生社会に向けた支え合いによる地域づくり

- ①多様な生活ニーズに対する支援
- ②安全・安心な生活環境の確保
- ③権利擁護の推進



松戸市虐待防止推進 キャラクター「ハートはと」

施策 2 認知症施策の総合的な推進

- ①普及啓発・本人発信支援
- ②認知症予防の推進
- ③医療・ケア・介護サービス・介護者への支援
- ④認知症バリアフリーの推進・若年性認知症の人への支援・社会参加支援



オレンジ声かけ隊長 ゆーかりくん

施策 3 地域包括支援センターの体制強化

- ①包括的な相談支援体制の充実
- ②地域包括支援センターの体制強化

計画の柱
3

介護サービスの適正な供給

施策 1 在宅介護サービスの充実と在宅医療・介護連携の推進

- ①在宅介護サービスの整備・充実
- ②家族介護支援の推進
- ③介護サービスの質の確保・向上
- ④切れ目のない医療と介護の提供体制の構築推進

施策 2 地域の実情に合わせた住まいの確保と施設整備

- ①地域の実情に合わせた高齢者向け住まいの確保
- ②住宅環境の整備
- ③地域の実情に合わせた施設・居住系サービスの整備

施策 3 介護人材の確保・定着及び資質向上に向けた取り組みの推進

- ①多様な人材の参入促進
- ②介護人材定着のための取り組み支援と資質向上支援
- ③介護現場の生産性向上



松戸市介護職員等永年勤続表彰 動画

※動画はこちらからご覧ください。



市ホームページ

4月から介護保険料が改定されます

詳細は広報まつど4月1日号でお知らせします

※介護報酬改定に伴い、利用料が変更となるサービスがあります。

問介護保険課 ☎047-366-7370

いきいき安心プランⅧまつどは、4月から閲覧できます。

閲覧場所

高齢者支援課、各支所、市立図書館(本館・地域館・分館)、まつど市民活動サポートセンター、行政資料センター、市ホームページ